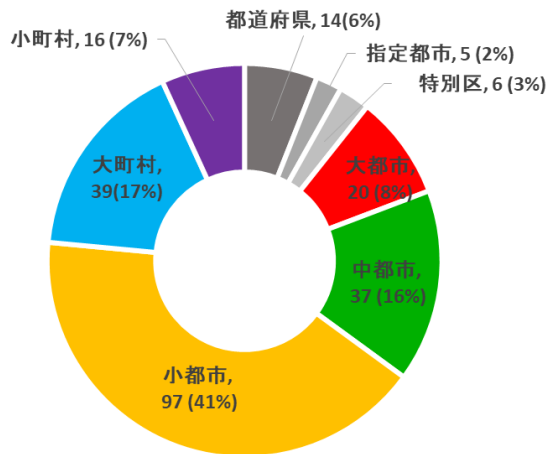


地域とスポーツを活性化するための総合的なスポーツ政策イノベーションプラットフォーム【JAPAN SPORT NETWORK】 新型コロナウイルス感染症に伴う地方自治体のスポーツ施策・事業への影響調査 (第2回速報)

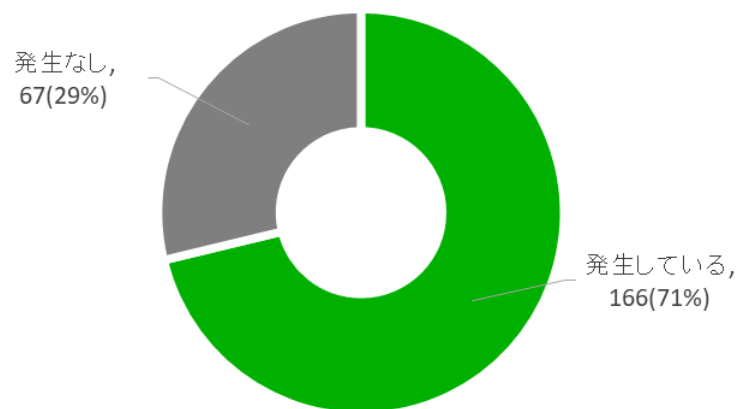
日本スポーツ振興センターは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う地方自治体への影響を把握し、今後の事業開発の検討及び関係機関への共有を目的として JAPAN SPORT NETWORK参加自治体を対象に継続的な調査を実施しています。第2回調査では、「スポーツ活動再開後の実態」について、234自治体が回答しました（回答率31%）。本レポートではその概要をお知らせ致します。

回答者の属性

Q1. 回答者の属性（自治体区分ごとの回答数）

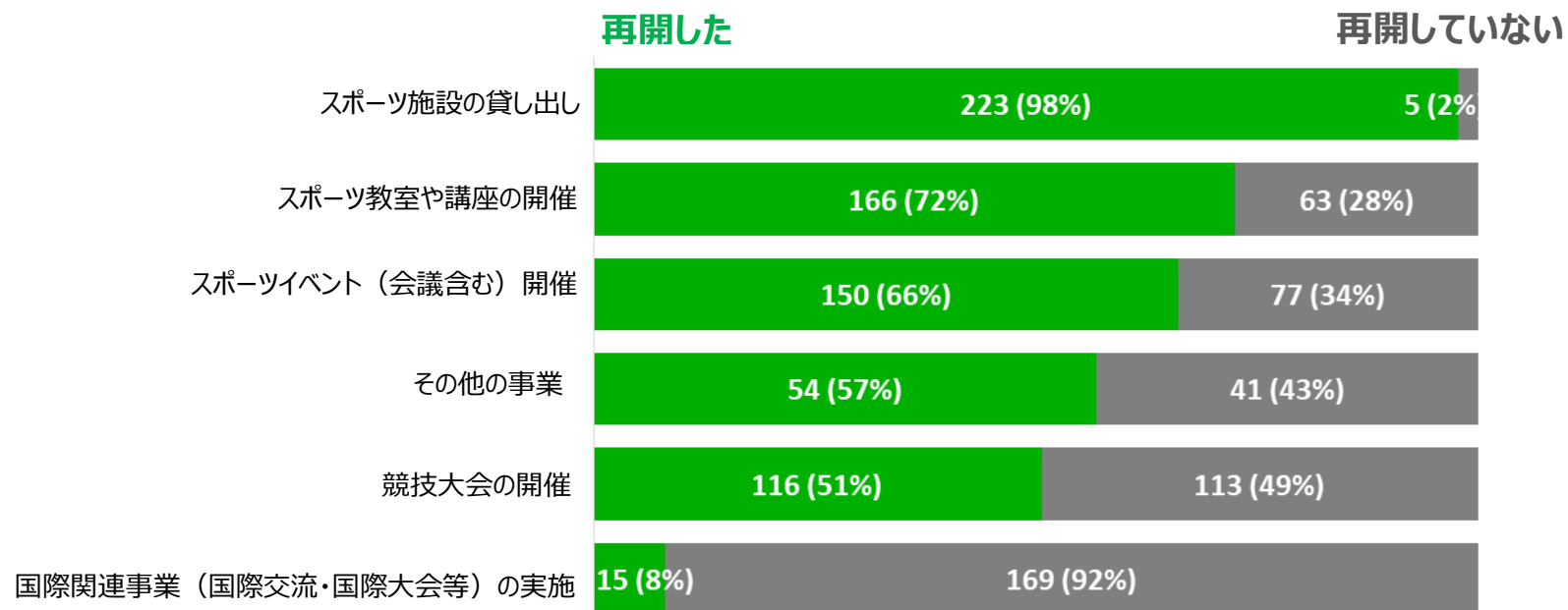


Q2. COVID-19 感染者の発生状況



自治体におけるスポーツ関連事業の再開

Q3. 貴自治体のスポーツ関連事業（大会やイベント、スポーツ教室、交流事業、施設利用等）の再開状況について教えてください。



再開に向けた取り組み

主な取り組みとして、施設利用時の消毒の徹底やマスク着用、利用者の検温や体調確認のための利用者名簿の提出など、施設利用のルール化に関する取り組みが多く挙げられた。

その他（一部抜粋）

- 3密回避のため、施設利用者の人数制限や感染予防対策としてガイドラインを遵守する競技団体等への貸し出し。
- 会議はオンラインによる開催。
- 自治体が推奨する感染防止策（感染者との接触を把握等）アプリの登録を依頼する。（いばらきアマエビちゃん／大阪コロナ追跡システム）
- 大会の申込受付の際、コロナ対策のための遵守事項の確認及び大会当日の体温を記載する用紙を配布し、大会当日提出。開会式、閉会式を通常よりも短縮して行う。
- 観客席数の制限、席の間隔をあけるなどソーシャルディスタンスの確保。

再開できない要因

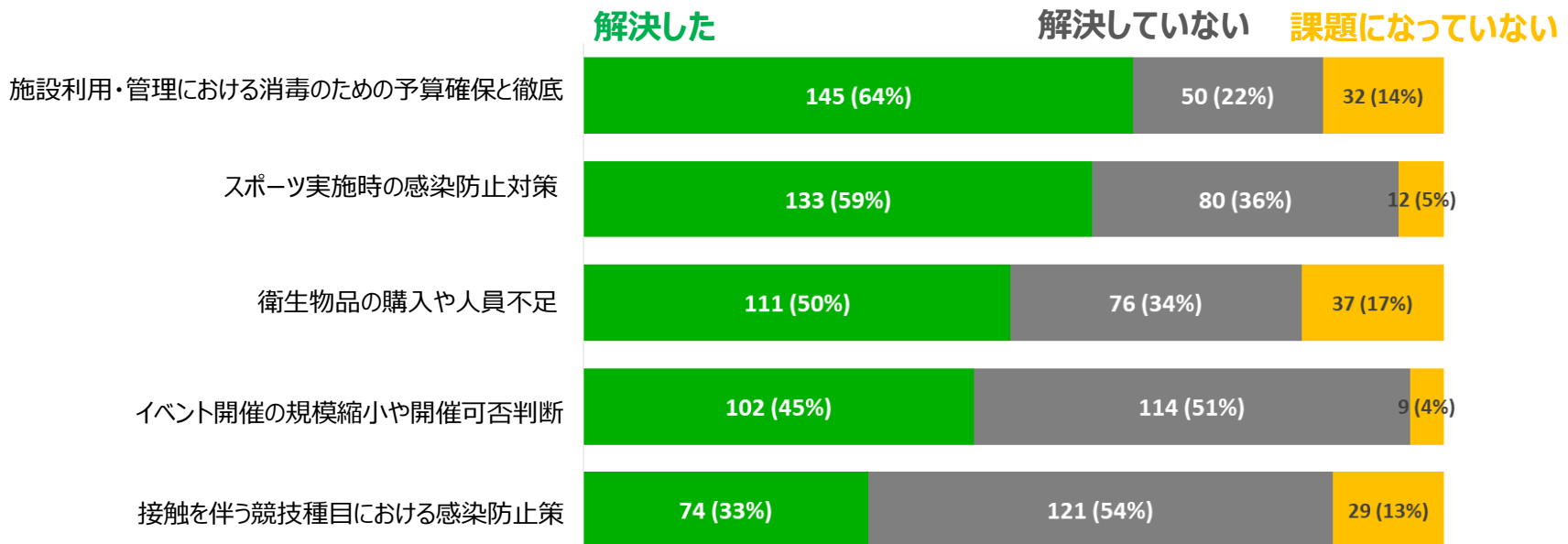
主な要因として、安全性の確保、3密を避けた十分な感染防止対策が困難であること、ガイドラインが出ていない競技への対応や競技団体のガイドラインの遵守・徹底が困難であることが要因として多く挙げられた。

その他（一部抜粋）

- 参加人数が多い、または不特定多数の参加が見込まれる事業は、観客のコントロールが難しい。
- 感染防止策実施のための物品調達及び人員動員、人数制限などの明確な指針、ガイドライン策定ができていない。
- 3密が避けられない事業、参加者の連絡先が把握できない事業に関しては実施しない方向で検討を進める。
- 競技性の高い大会や大規模および国際イベントは参加者の安全が確保できない。

想定された課題への対応

Q4. スポーツ活動の再開に向けた次の課題について、解決状況についてお答えください。想定課題は第1回調査結果を参考としています。



解決に向けた取り組み

主な取り組みとして、感染予防対策に対応する予算の確保や必要な衛生物品の購入、施設利用に対して消毒の徹底や消毒及びチェックリストの設置が多く挙げられた。

その他（一部抜粋）

- 競技団体、体育協会、スポーツ団体、指定管理者とのガイドライン遵守に関する協議を行った。
- 国の交付金の活用、国や県・町の方針・指針を参考とした。
- イベントや大会開催については基準を作成し、規模縮小で再開した。
- 大会・イベント開催に際しては、国・県・団体等で示されているガイドラインを基本に主催団体がガイドラインを作成し感染予防防止策がとれる場合にのみ大会の開催を許可している。
- 近隣市町の対策も参考にして保健部局と相談して解決した。
- 陽性者が出た場合の消毒業者手配、契約事務などを決めた。

解決していない要因

主な要因として、衛生物品など消毒に係る予算の確保が難しい（予算不足）や、日々変化する新型コロナウイルス感染状況から完全な解決は難しいという要因が多く挙げられた。

その他（一部抜粋）

- 感染防止対策を徹底したスポーツ施設の利用やイベント開催は開催規模の判断が難しい。
- 競技ごとにあるガイドラインへの対応や接触の伴う種目の感染予防が見いだせない。
- ガイドラインの取り扱いにない事象への対応。
- 職員数が少なく、各種大会やイベントを実施するには人員不足が課題である。
- 何を何処までしてよいのかが不明。
- 常時監視できる体制ではないので、利用者の判断に任せるところがあり、完璧な徹底は難しい。
- 各競技団体において、それぞれの競技別ガイドラインに対応できていない。

スポーツ活動再開後、新たな課題

Q5. 緊急事態宣言解除後スポーツ関連事業を再開し、新たにどのような課題が出ていますか。

主な課題として、「スポーツ施設や活動の際のマスク着用の問題（個人の意識差）」、「施設利用に関する消毒の徹底や人数制限したなかでの参加者の確保」、「感染防止対策をしても新型コロナウイルス拡大に伴う不安や課題が出た場合の対応」、「全国で感染者が発生する状況で大会やイベントなど事業再開・実施に伴う中止判断や開催判断が難しい」が挙げられる。

その他（一部抜粋）

- 一旦は県外チームとの交流試合等を認めたが、コロナウイルスが再び感染拡大してきたことに伴い、今後、どのように活動を制限していくか。
- 大規模なスポーツイベントを行うにあたっての感染予防策
- 今まで実施していたスポーツ大会自体を根本から見直す必要性を感じる（目的、実施方法、開催する意味）。
- 第2波、第3波による、域内又は、市内感染者の発生に伴う、新たな対応（施設の閉鎖条件や事業実施条件）の構築。
- 恒常的な換気システムが施設にない。
- 利用者減による施設稼働率の低下。現在も活動を自粛している利用者が多い。
- 緊急事態宣言は解除されたが、都市部からの合宿や大会利用がまだまだ自粛傾向にあり、従来通りの計画とはならない。それによる市内への経済効果についても大きな影響がまだまだある。
- 当市内で感染者が出ていないため、実際に感染者が出た時の対応が課題。

ガイドラインの作成

Q6. 貴自治体でスポーツ活動に関するガイドラインを作成しましたか。どのガイドラインを参考にしましたか？



参考先としては、スポーツ庁が提供する「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」が最も多く、次に都道府県及び競技団体が公表したガイドラインが多い。

自治体が作成したガイドライン（一部抜粋）

<ハード>

- 体育施設利用ガイドライン
- 小中学校体育施設利用における新型コロナウイルス感染拡大防止チェックリスト

<ソフト>

- 体育施設関係者から感染症が出た場合の対応に関するガイドライン
- スポーツ少年団活動ガイドライン
- スポーツ教室再開ガイドライン
- スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

政策立案過程への影響および補正予算

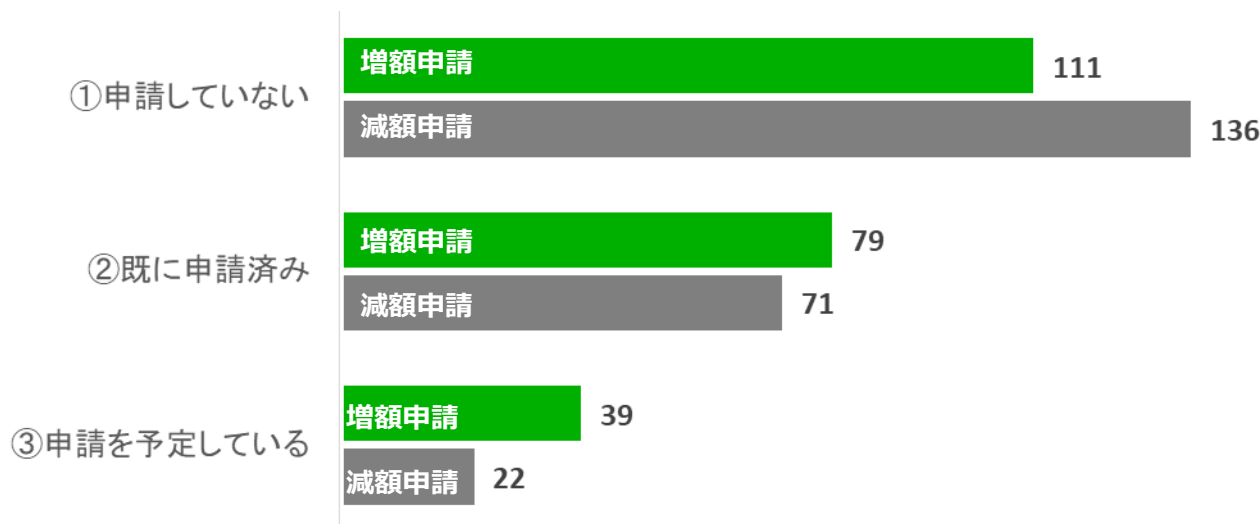
Q7. 現時点で、次年度のスポーツ政策立案過程へ影響が発生していますか？



主な影響（一部抜粋）

- スポーツ推進計画の策定期間を延長した。
- 今までと同様に事業実施できないことによる、企画の練り直しなど、予算的、人的な問題が出てきている。
- スポーツ施策は削られる可能性が高い。
- オリンピックの不確実性による事業計画、予算確保に影響がある。
- 国際大会誘致、大人数が参加する大規模イベントの開催判断。

Q8. 現時点でスポーツ関連事業の補正予算について、増額申請していますか。申請の内容・増額の金額について可能な範囲で教えてください。また、現時点でスポーツ関連事業の補正予算について、減額申請していますか。申請の内容・減額の金額について可能な範囲で教えてください。



増額申請の内容（回答32件、総額約5億円）

主に消毒液等の感染防止に係る費用を増額申請が多く挙げた。

（具体例 一部抜粋）

- リモートマラソン、オンラインマラソンの開催費用
- スポーツ少年団支援活動に係る助成金
- 更衣室・トイレ等換気の改修工事
- トレーニングルーム内のシールド設置
- 社会体育施設へのサーマルカメラ設置
- 消毒液、体温計、モップ、抗ウイルス処理
- 無観客試合等に対応するための映像配信の業務委託費
- スポーツ施設予約システム
- WiFiネットワーク環境整備
- 指定管理者補填・補償

減額申請の内容（回答36件、総額約15億円）

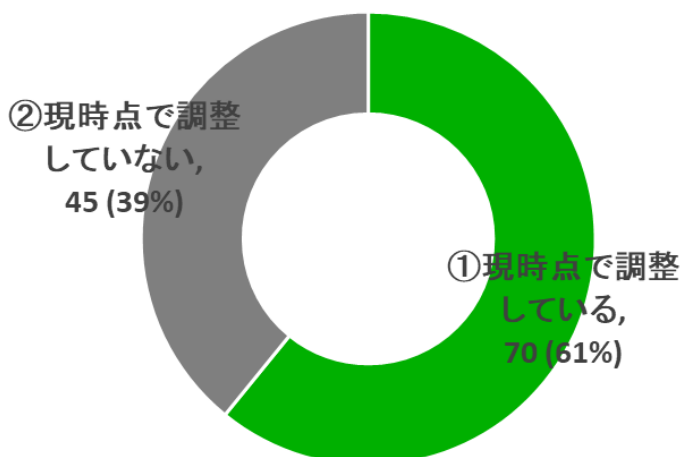
主に2020年度中止が決定した事業費について減額申請が多く挙げた。

（具体例 一部抜粋）

- オリンピック関連事業（事前キャンプ受入れ、聖火リレー関連）中止
- 巡回ラジオ体操会の中止
- スポーツ少年団交流事業の中止
- 市内のプール施設運営に係る費用
- 中止になったイベントにかかる補助金
- スポーツレクリエーションにかかるイベント、大会等の中止にかかる経費等
- 人件費
- 市体育協会への補助金(競技団体の大会費)減額
- スポーツ動向調査費

国際関連事業に係る相手国との調整状況

Q9. （東京2020大会に関連したホストタウンや事前キャンプなど国際交流事業に取り組む自治体）現時点で今後の事業について相手国と連絡調整を行っていますか。



調整の方法や今後の予定（一部抜粋）

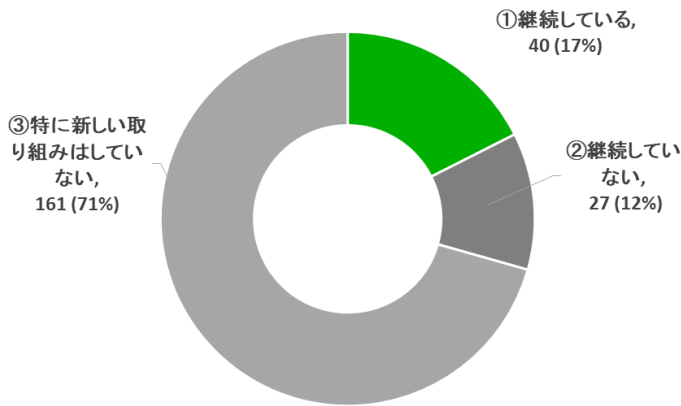
- 電話やメール、SNSを活用して相手国の担当者や大使館、オリンピック委員会、競技団体との調整を実施している。
- 相手国とSkypeやzoomなどを使用したWEB会議の実施している。
- 国際交流員、姉妹都市交流担当課を通じて調整している。
- 今後、協定の調印に際してはオンライン調印式を実施する。

調整していない理由（一部抜粋）

- 事前合宿は本町では行わないこととなり、本町のホストタウン事業の主要な取り組みは自治体向けチケットの購入事業のみとなった。
- 事前キャンプ受入予定のチュニジアの現状では不確定要素が多く、大使館側から現状で調整できることはない旨を聞いているため。
- 国や道などの官公庁からの情報待ちである。
- 感染症終息の見通しがたっていないため、当面の間事業が実施できないため。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い現在は調整が困難であるため。
- 現時点において、相手国の出場競技や出場選手等が不透明であるため。
- 事前キャンプ地の登録はしているが、相手国が決まっていないため。

コロナ禍におけるスポーツ行政の新たなサービス

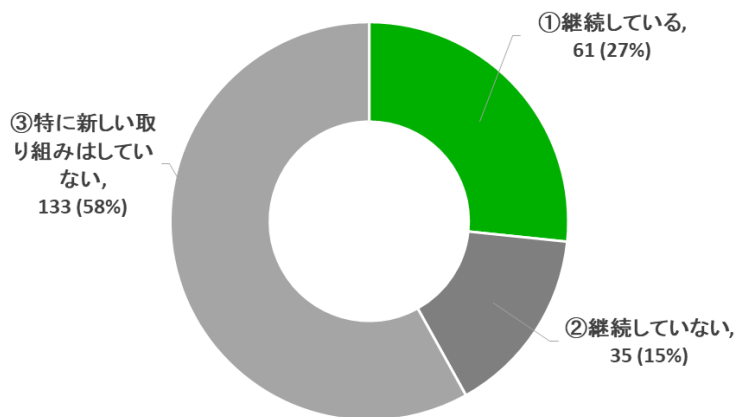
Q10. 外出自粛期間中にスポーツ行政が住民向けに実施した新たな取組について、現在も継続していますか。（例：ラジオ体操実施、在宅運動のチラシ配布など）



<主な取組（一部抜粋）>

- 事業中止に伴い、町広報誌によるスポーツ事業の変遷周知（町民大運動会65年の歴史を振り返る特集）
- コロナ情報に加え熱中症の取組情報発信
- 自宅でのラジオ体操実施奨励
- 広報誌にて運動を紹介
- CATVにおいて、健康体操を放送している。
- 地元ケーブルテレビやWEB等を活用したスポーツリズムトレーニング動画の配信
- ラジオ体操
- チラシの全戸配布等

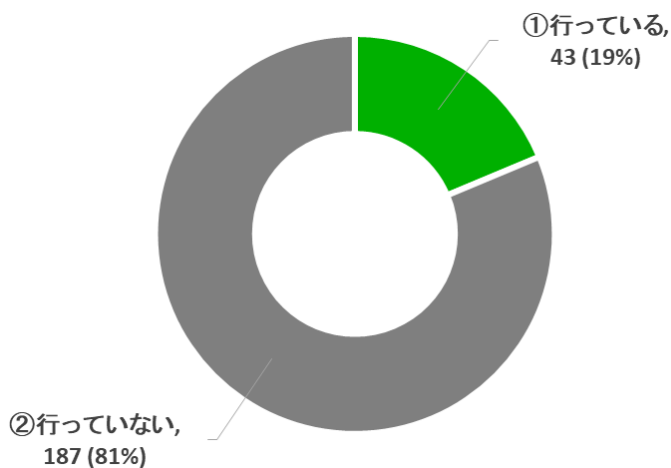
Q11. 外出自粛期間中に実施したオンラインでの取組について、現在も継続していることはありますか。（例：運動動画の配信、オンライン会議など）



<主な取組（一部抜粋）>

- オンライン会議
- 運動動画の配信
- 市ホームページへの体操動画の掲載
- マラソン大会をオンラインマラソンに変更して開催する
- 市のFacebookに感染予防を図りながらできる運動を紹介及び運動習慣の助けになる既存制度を紹介
- ZOOMを使用したオンライン教室の実施（カラダを整える朝コアストレッチ、サッカースキルアップレッスン、リンパマッサージ&ストレッチ）
- 地元ケーブルテレビやWEB等を活用したスポーツリズムトレーニング動画の配信
- 地元トップスポーツ選手によるストレッチ等の動画配信
- 区公式HPおよびYouTube公式チャンネルにて、運動動画を配信している
- ストレッチ体操やスポーツ推進委員によるラジオ体操の動画配信
- 「いずみさの体操」の動画配信
- ストレッチ&ヨガ動画配信

Q12. 外出自粛期間中、個人で運動やスポーツに取り組む住民が増えましたが、それらの住民に対してスポーツ行政から働きかけを行なっていますか。内容を教えてください。



<主な取組（一部抜粋）>

- 町民体育館トレーニングルーム内の換気改良、利便性向上の周知
- ウォーキングの推奨
- 広報誌等でテニスコートの個人開放の詳細を掲載している
- 期間中にフルマラソン完走を目指すオンラインマラソン
- 感染予防の注意点等の張り紙掲載
- HPで個人体操を紹介したり、少人数でのスポーツ教室を開催している
- 運動やスポーツを継続してもらうよう呼びかけを行っている
- 個人でできる運動の継続者へのインセンティブ付与（商品券など）
- 市内公共施設を対象としたスタンプラリーの実施
- ラジオ体操の推進
- 消毒・チェックリスト等新規施設利用者に周知徹底
- ウェブページ上で気軽にできる運動やスポーツを紹介
- 市ケーブルテレビでのウォーキングコース紹介
- 屋外での運動における注意点をHPなどで周知している
- 感染症対策についてスポーツ団体に通知を発送

COVID-19感染症の収束見通し

Q13. 現時点でスポーツ施策・事業へのCOVID-19の影響について、終息の時期（完全に影響がなくなる時期）はいつ頃を見通していますか？

主に、現在の感染状況から見通せる時期ではなく、現時点では予測不能、不透明であるという意見が多数であった。また、ワクチンが開発・供給された頃、今年度末か来年度以降まで事業への影響を受けるといった2023年頃までを見込んでいた意見が多く挙がった。

問い合わせ

（独）日本スポーツ振興センター情報・国際部（COVID-19×スポーツ情報研究プロジェクト：木間・久保田） メール：jsnet@jpnssport.go.jp

※情報・国際部ではプロジェクトチームを結成し、「新型コロナウイルス感染症に伴う地方自治体のスポーツ施策・事業への影響調査」に取り組んでいます。5月に実施した第1回調査結果に関する報告レポートは、JSN参加自治体の皆様に配布しております。ご要望の方はメールにてご連絡ください。